

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	ご利用者の状態に応じて家族了解を得た上で玄関の施錠をおこなっている。	日中は、施錠をせず解放感のあるホームを目指す。	施錠しないためにはどうしたらよいかを職員全体で話し合った上で、まずは日中から施錠しない時間帯を設定するとともに、センサーマットの導入を検討する。	3ヶ月
2	1	理念を意識したケアの実践に取り組んできたものの、現状に沿った理念への作り直しが必要。	職員全員が同じケアの方向を目指してすすむことができるよう理念の再構築をおこなう。	理念を再構築する必要性を全職員で理解し、それぞれに持つご利用者への想いや介護観をもとに理念を作る。	6ヶ月
3	35	地元消防団や地域の住民とともに避難訓練をおこなっているが、夜間を想定した訓練を実施していない。	夜間を想定した訓練の実施により、昼夜を問わず避難できる方法を身につける。	地元消防団や地域住民、推進会メンバーにも協力をいただきながら計画を立て、夜間を想定した訓練を実施する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。